

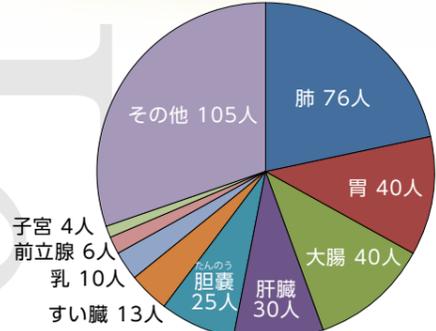


いきいき健康情報

第16回
がん検診について

このコーナーでは、市民の皆さまの健康づくりに役立つ情報を掲載します。

本市の部位別がん死亡者数(平成24年)



出典:衛生統計年報

がんは、早期発見が大切です

がんは早期に見つかり、約9割が完治するという時代になりました。しかし、今も日本人の死因第1位とされています。

平成24年の本市でのがん死亡者数の内訳は左グラフのとおりとなっており、肺がん、胃がん、大腸がんなどで多くの方が亡くなっています。

痛みなどの症状が出てから医療機関を受診するのではなく、自覚症状がない時期から、がん検診を受診して早期発見に役立てましょう。

本市のがん検診について

本市では、次の5つのがん検診を行っています。

①胃がん
日本人が最もかかりやすいのは、胃がんだといわれています。早期に発見されると100%近くの確率で治すことができます。しかし、既に進行している場合、他臓器に転移し、治療が難しくなります。

本市でのがんの死亡者数の中で第2位となっています。

②肺がん
肺がんによる死亡者数は、本市の第1位となっています。

喫煙量が多いほど、または喫煙開始年齢が若いほど、肺がんが発生する危険性が高いといわれています。進行すると、治療は難しいため、検診の受診と禁煙を心掛けましょう。

③大腸がん
大腸がんは近年、男女ともに患者数が増えています。本市のがん死亡者数の11%を占めていて、胃がんと並び、第2位となっています。

早期に見つかり、9割以上が治るといわれており、検診が最も有効な対策の一つとなります。

④子宮頸がん
近年では子宮頸がんの死亡者数は減少傾向にありますが、20歳代・30歳代の患者数は増えています。初期症状はほとんどなく、自分で気付くことができないがんです。そのため、検診によりがんになる前(前がん状態)の異常を見つけることが重要です。

※前がん状態：がんになる前に細胞が変化している状態

⑤乳がん
日本人女性に一番多いがんが、乳がんです。乳がんは唯一、自己検診で発見できるがんですが、自分で発見する場合は、進行していることが多いため早期発見には検診が有効な対策です。

*平成24年の本市のがん検診によるがん発見者数は、次のとおりです。

▼胃がん15人、大腸がん14人、肺がん22人、乳がん7人、子宮がん4人

【問合せ】=市民健康課(川内保健センター内) ☎(22)8811

行こうよ図書館へ

「薩摩せんだい図書館フェスタ」を開催しました

12月7日(日)、図書館に親しんでいただくことを目的に「薩摩せんだい図書館フェスタ」を開催しました。当日は、中央図書館・中央公民館に幼児から大人までの幅広い市民の方々が訪れ、いつもとは雰囲気異なっていたいろいろな催しを楽しみました。

毎年、催しの中で好評をいただいている「本のリサイクル市」では、古くてもまだ読むことのできる文学や美術の本をはじめ、いろいろなジャンルの本を無料で持ち帰りいただきました。

他にも、図書館の中を探検してクイズに挑戦する「としよかんクイズ」、少年自然の家による「バルーン・アート」、読書グループや可愛小学校2年生による図書館学習などの活動紹介ポスター展示、お楽しみ映画など、いつもは静かな図書館も、イベントで盛り上がりました。



*「お楽しみ工作」の様子については、25ページをご参照ください。

講演 「絵本と紙芝居 ふしぎとうれしい」

「とうさん かあさん」「せとうちたいいこさん」などの絵本でおなじみの絵本作家、長野ヒデ子氏の講演会を同フェスタの記念講演として開催しました。

ご自身の子育てのお話しを交えながら、絵本の誕生秘話や紙芝居に対する思いなどを講演されました。長野氏による絵本の読み聞かせや紙芝居の実演も行われました。楽しい時間を過ごした参加者からは「長野先生の優しい人柄があふれるお話しだった」「絵本、おかあさんがおかあさんになった日」ができるまでのエピソードを聞いて、心がほっこりした」などの感想がありました。

「平成26年度読書感想文コンクール」の上位入賞者を紹介します

市立図書館では、児童・生徒が本に親しむ機会をつくり、読書の素晴らし



さと楽しさを体験し、読書の習慣を身に付けることを目的に、毎年、市内小・中学校の児童・生徒を対象とした「読書感想文コンクール」を実施しています。

今年度は、小・中学校合わせて24校95点の応募作品の中から、部門ごとに最優秀賞2作品、優秀賞4作品の計6作品が選ばれ、同フェスタで表彰しました。受賞された皆さん、おめでとうございます。



- 小学生の部 「内は題名」
 - ▼最優秀賞 中山寛堂(城上小学校5年) 「みんなが幸せに」
 - ▼優秀賞 中村琉樹(南瀬小学校1年) 「とべないはたるさんへ」
 - ・上園星奈(城上小学校6年) 「わたしは学ぶ、平和な世界を目指して」
- 中学生の部 「内は題名」
 - ▼最優秀賞 谷口亜弥佳(水引中学校2年) 「お母さんは命をかけてあなたを産みました」
 - ▼優秀賞 江本咲久耶(川内南中学校3年) 「本当の幸せとは」
 - ・宮原七海(平成中学校3年) 「十五歳、私の決意」

中央図書館から

今月のおすすめ本

ちょっと具合のよくないときのごはん

岩崎 啓子 石川 みずえ 著 (日東書院本社)

風邪、食欲不振、胃腸の不調、便秘。症状別に具体的な食事の内容を紹介しています。体によい食材を合わせたアイデア料理も収録

一般書



一般書



児童書



絵本



舞台は長崎。施設で暮らし、91歳で亡くなった母の「今」と「昔」を、64歳の息子が描く。「昔」を、64歳の息子が描く。どこまでも優しく切ない漫画。映画化もされた前作「ペコロスの母に会いに行く」の第2弾

ある日、一人でどこかへ行きたくなったやんちゃウサギと、そのお母さんの愉快な追いかっけが始まります。わが子を思う母の気持ちが強く伝わってくる絵本です。

10代が抱える悩みに、人気の精神科医がストレスから心を守って自分らしく生きるための「心の原則」を教えます。

マーガレット・ワイズ・ブラウン 文 ながわ ちひろ 絵 長野 ヒデ子 (あすなろ書房)